

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「スローライフ in 西城」

【庄原市立西城小学校第5学年】

時期	道徳	教科	総合的な学習の時間	特別活動	
10月		教科「国語」 単元「わらぐつの中の神様」 ※ねらい：登場人物の考え方・生き方について自分なりの感想をもつ。【ア、イ】	単元「設定した課題を基に調べ学習を行う」 ※ねらい：調べたことを分類しまとめて、まとめる過程の考え方を分かりやすく表現する。 【ア、イ】：自分の意見や気持ちを分かりやすく表現することができる。		
11月		教科「国語」 単元「人とものの付き合い方」 ※ねらい：身近なゴミ問題を取り上げて、「もの」との付き合い方を見直す。 【ア、イ】		単元「西城タウンミーティングを開こう」 ※ねらい：話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて自分の考えを深めることができる。 【ア】：自分との考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。	
12月	資料名「世界に誇る日本の塔」4-(7)「郷土愛」 ※ねらい：身近にある自然を理解して、郷土や国を愛する心情を育てる。 【ア、ウ】	教科「社会」 単元「我が国の食料生産」 ※ねらい：環境にやさしい米作りについて知る。【ア、イ】			
		教科「国語」 単元「工夫をして発信しよう」 ※ねらい：目的に応じた情報の配列・編集についての理解を深める。【ア、イ】			単元「西城っ子祭り」 ※ねらい：総合的な学習の時間で学んだことを、ゲストティーチャーや地域の方に意欲的に伝える。 【ア、イ】：思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(小学校)

コミュニケーション能力の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間 単元「スローライフ in 西城」

【庄原市立西城小学校第5学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前に、小学生や中学生との交流学习を行い、異年齢同士のコミュニケーションを図ってきた。この交流学习を通じて身に付けたコミュニケーション能力を踏まえて、総合的な学習の時間でさらに高めている。
- 本時では、コミュニケーション能力を育成するため、グループ学習を取り入れ、自分の考えを書いたカードを用いて整理することにより、考えを分かりやすく伝える指導を工夫している。

1 学年 第5学年

2 科目名・単元名 「スローライフ in 西城」

3 単元の目標

- 自分の課題について調べたことをまとめ、話し合いの場で効果的に表現する。
- 地域の方の考えを知り、地域への理解と愛着を深める。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。

ゴシック体の部分は、キャリア教育の視点を示しています。

【コミュニケーション能力】

4 指導と評価の計画 (全21時間)

次	学習内容(時数)	評 価					評価方法
		意	学	把	生	評価規準 【キャリア教育の視点】	
1	○ 自分の課題を設定する。(1)	○				【学習意欲】 自分の課題や考えを工夫して表現しようとしている。	観察法(行動)
2	○ 調べ学習をする(4)		○			【学び方・ものの見方】 ①調べたことを分類し、関連づけることができる。 ②自分のものの見方や考えをわかりやすく表現する。	作品法(ワークシート) 作品法(作品)
3	○ ゲストティーチャーを迎え、意見の交流を行う。(本時1/8)			○	○	【自己の生き方】 ゲストティーチャーの考えを知り、自己が考えを深めることができる。 自分が解決しようとする課題について明確にし、適切に表現することができる。【課題把握】 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。 【コミュニケーション能力】	観察法(行動) 作品法(ワークシート)、観察法(発言)
4	学んだことを発信する(8)				○	【自己の生き方】 学んだことを通して自己の学びや友達の成長を確認できる。	作品法(振り返り表)

5 本時の目標

- 話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて自分の考えを深めることができる。
- 自分との考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解する。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程

過程	学習内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	○ 本時の学習課題を確かめる。		
西城タウンミーティングを開こう			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各グループが調べたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔の米作りグループ ・昔の道具グループ ・西城の自然，生き物グループ ○ ゲストティーチャーからの話を聞く。 ○ ゲストティーチャーの話から考えたことや気づきを書く。 ○ 意見交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーと友達にしっかり伝えられるように意識付けする。 ○ 米作りの専門家の立場から，生徒の発表について評価してもらうとともに，児童の発表にはなかった視点から，米作りについての話をしてもらう。 ○ ゲストティーチャーの話を聞いて新しく知ったことや考えたことをワークシートに整理させる。 ○ ゲストティーチャーの話を聞いて考えたことをグループで交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合い活動やゲストティーチャーの話を聞いて，さらに自己の考えを深めることができる。（観察法，作品法） 【コミュニケーション能力】 ○ 自分との考えを分かりやすく他者に伝え，他者の考えを聞いて理解する。（観察法） 【コミュニケーション能力】
まとめ	振り返りをする	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだことをしっかり確認する。 ○ まとめをワークシートに書いて提出する。 	